

山形県公金収納DX基本方針

令和6年1月
山形県会計局





山形県公金収納DX基本方針

1 背景

① 山形県行政改革推進プラン2021(R3.3)

- ・行政手続等のオンライン化の推進
⇒オンラインで利用できる県独自の行政手続
1.5%(R2)→100%(R6)

② Yamagata幸せデジタル化構想(R4.10改訂)

- ・デジタル化による暮らしやすい地域づくり
- ・行政のデジタル化の着実な推進
⇒公金収納のキャッシュレス化を拡大



コロナ禍における多様な
キャッシュレス決済の普及

行政手続のオンライン化
×
公金収納のキャッシュレス化



日本のキャッシュレス決済比率
2010年 13.2%⇒ 2022年 **36.0%**

我が国のキャッシュレス支払額及び比率の推移 (2022年)
R5.4 経済産業省資料

2 現状と課題

① 行政手続のオンライン化

条例等に基づく手続の71.5%
(電子メールによる届出を含む。R5.3月末現在)

② 公金収納DX※

※デジタル技術等を活用して
多様な公金収納方法を実現すること

- (1) 既にDXが進んでいる県公金収納
 - ・県税
 - ・ふるさと納税
 - ・自動車の車庫証明手続(国交省ワンストップサービス)

- (2) 新たにDXの対象とする県公金収納の概要

【公金収納等現況調査 R5.3月 会計局】

	手続場所	件数	収入調定額
納入通知書	金融機関	7.8万件	約69億円
現金	行政窓口	0.1万件	約0.1億円
県証紙	行政窓口 (売りさばき所)	146万件	約20億円

(このほか、県立学校授業料・県営住宅使用料は口座振替で収納)

◆県証紙の貼付が必要な手続が
オンライン化を阻害する一つの要因

③ 全国の状況

(県税・ふるさと納税・車庫証明以外、R5.2月)

- (1) DX済み 又は 導入予定 39都道府県
- (2) 県証紙廃止 又は 廃止予定 11都道府県

◆県民の利便性の向上

- 金融機関窓口以外での支払方法の提供
- 現金に代わる多様な支払方法の提供
- 県証紙売りさばき所以外での支払方法の提供

- ◇引き続き従来の支払方法を希望する方への対応
- ◇事務フローの大幅な見直し、システムの対応、手数料負担

3 本基本方針の目的

県の公金収納(税外)に関し、デジタル技術等を積極的に活用して

- ・県民の利便性の向上(多様な支払手段と、時間や場所にとらわれない公金収納の実現)
- ・県の業務効率化(公金収納・管理の省力化)

を図っていくための施策の方向性を定める

4 本県の公金収納方法の現状

(1) 現行の主な公金収納方法(税外収入)

	手続場所	支払場所	収 納 例
a.納入通知書	金融機関	同 左	各種使用料、返還金 等
b.現 金	行政窓口	同 左	県立博物館入館料、 こども医療療育センター外来診療費 等
c.県 証 紙	行政窓口	県証紙 売りさばき所	各種手続の手数料

(2) 現行の公金収納方法のメリット・デメリット

	支払場所 支払方法	メリット		デメリット	
		県側	納入義務者側	県側	納入義務者側
a.納入通知書	金融機関窓口 現 金	○県内金融機関で納入された場合、収納までの時間が短い	○金融機関の安心感	▲県外金融機関で納入された場合、確認と収納まで時間がかかる	▲対象金融機関が限定 ▲店舗数が近年減少 ▲営業時間 (9～15時)
b.現 金	行政窓口 現 金	○即納性	○誰もが支払える	▲現金・釣銭管理 ▲銀行入金処理	▲事前の現金準備 ▲現金取出等の手間
c.県 証 紙	売りさばき所 現 金	○現金事故の防止	○事前購入可 ○郵送申請可	▲消印押印・管理 ▲印刷経費の増高	▲売りさばき所の ・数が限定的、県内のみ ・営業時間外は対応不可 ▲事前の現金準備等



収納方法ごとに、

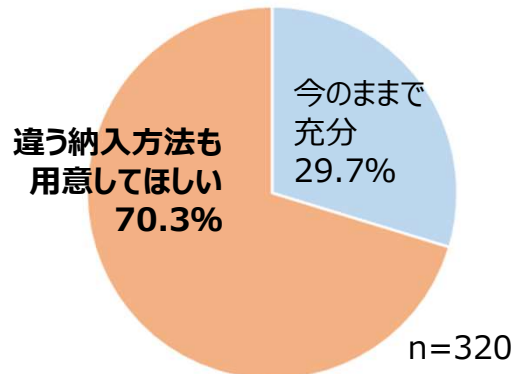
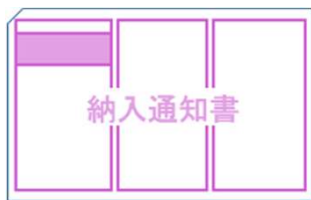
- ①利便性の向上(いつでも・どこでも・いろいろな方法で支払える)
- ②県の業務効率化

の視点で公金収納DXの対応方法を検討

4 本県の公金収納方法の現状

(3) 現行の公金収納方法に対するご意見 (出典：多様な公金収納の実現に関するアンケート調査 (R5.7 山形県会計局))

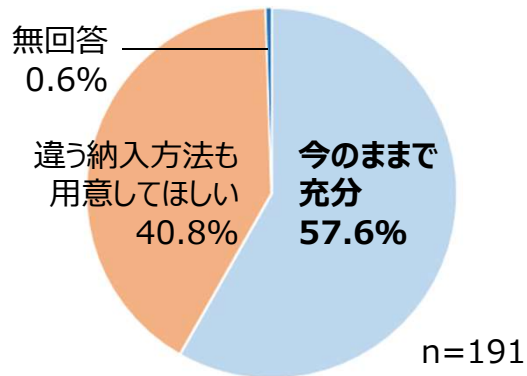
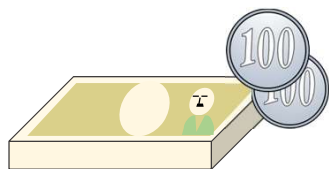
(a) 納入通知書での納入



金融機関窓口以外での納入を望む声大きい

- ・コンビニでの現金決済
- ・スマホ・PC等でのキャッシュレス決済

(b) 現金での納入

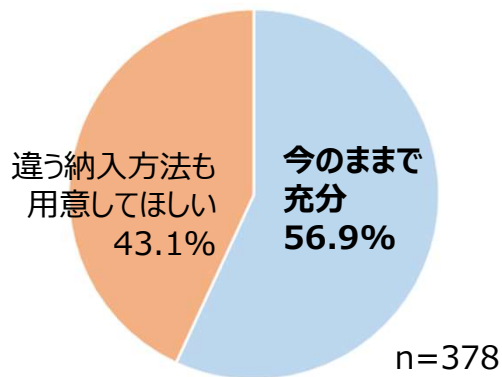


現行の納入方法には過半数の支持

プラスアルファとしての納入方法の要望

- ・ネット上での電子決済
- ・行政窓口での電子マネー決済
- ・行政窓口でのカード決済
- ・コンビニでの現金決済

(c) 県証紙での納入



…ただし、今回のアンケート(申請窓口での調査)では、法人回答者は県内法人が大半。県外法人については県証紙以外での納入方法を希望することが想定される

5 収納方法別の対応方針 ~基本的方向性~

(a) 納入通知書



金融機関窓口以外での
納入を望む声大きい

eLTAX収納に対応が必要

全庁が対象、
優先して対応していく

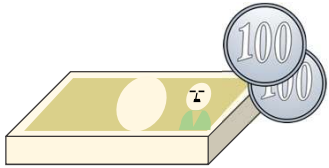
金融機関窓口での現金納入のほか...

① コンビニでの現金納付

② スマホ、PC等での
キャッシュレス納入

の全庁的な早期実現を図る

(b) 現金



現行の納入方法には
過半数の支持

プラスアルファとしての
納入方法の要望

現在、現金収納を行っている行政窓口では、

キャッシュレス納入を可能とする
対象窓口を整理※し、導入していく

※キャッシュレス決済端末の導入・運用コスト等を考慮し
導入窓口を今後選定

(c) 県証紙



・新たな納入方法の検討
・関係所属との調整

を進め、
順次DXしていく

当面は県証紙制度を運用しながら、
より一層の利便性の向上に取り組んでいく※

① 電子申請 + 電子納付を導入し、
いつでも・どこでも
申請から納付まで手続完了できる
環境を提供していく

② 利便性と効率性の高い
手数料納入方法を検討し、導入していく

いつでも・どこでも

・
いろいろな方法で
支払える

県の業務効率化

デジタル技術等で
実現へ

※①・②の導入（所要の財務会計システム等の改修含む）後、その普及・活用状況も踏まえながら、県証紙の廃止を検討

5 収納方法別の対応方針

～詳細～

(出典：多様な公金収納の実現に関するアンケート調査 (R5.7 山形県会計局))

(a) 納入通知書 (全所属を想定)

現 行

金融機関窓口での現金納入

- 安心感・確実性、金額上限なし
- ▲ 対応店舗数が少ない (特に県外は不便)
- ▲ 営業時間が短い (9時～15時)



これから

金融機関窓口での現金納入 に加え…

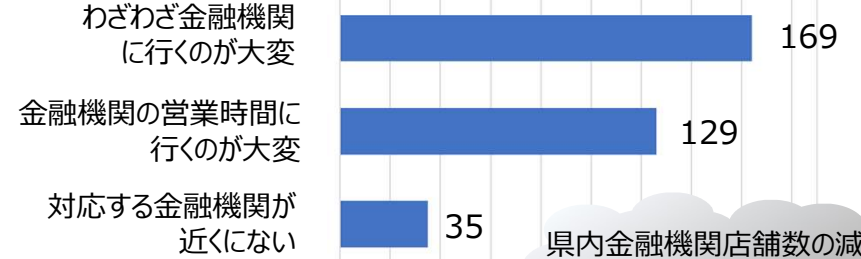
- (1) 全国コンビニレジでの現金納入
- (2) スマホ等を活用したキャッシュレス決済
- (3) Webブラウザでのキャッシュレス決済 に対応

電子マネー決済は対象歳入が限定されるため、費用対効果を踏まえ導入を判断

- (1)(2)はコンビニ対応バーコードを印字することにより実現 ⇒主に個人が対象
 (3)はWebサーバに調定情報をアップロードすること等により実現 ⇒主に法人が対象

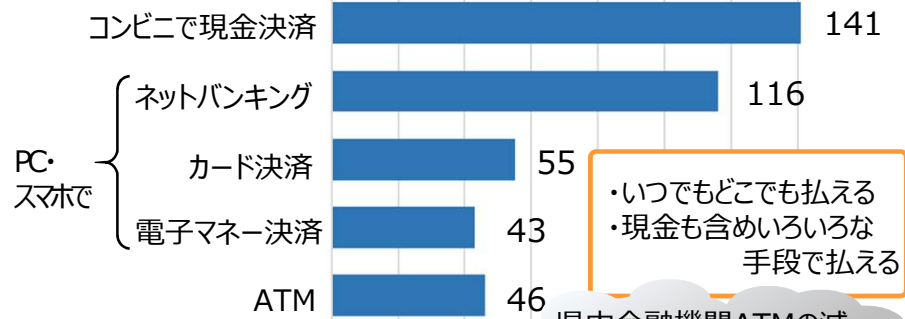
ご意見

「現行と違う納入方法を用意してほしい」と答えた理由(複数回答可)



ご意見

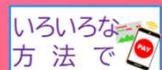
「現行と違う納入方法として何を希望するか」(複数回答可)



収納代行サービスを利用することにより…



コンビニ・スマホ等で
いつでも・どこでも納入が可能に



現金・キャッシュレス
の両方に対応



収納速報・確報の活用で
業務効率化

R8年度には税外公金でもeLTAXを活用したキャッシュレス収納が開始される見込み(スマホ・Webブラウザに対応。コンビニは非対応)※P9参照

⇒スピード感を意識しながら個人・法人双方の利便性を高めつつ、将来のeLTAX収納と重複せず、円滑に対応できる方法を選択していく

5 収納方法別の対応方針

～詳細～

(出典：多様な公金収納の実現に関するアンケート調査 (R5.7 山形県会計局))

(b) 現金

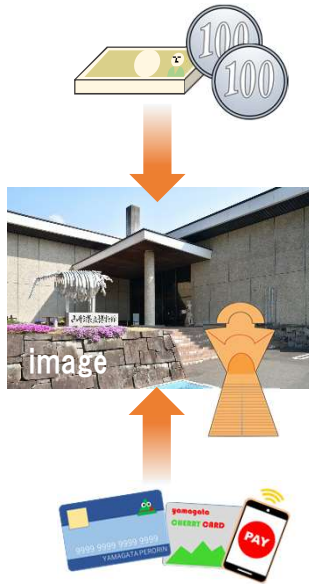
(例：県立博物館、こども医療療育センター等。対象は主に個人)

現 行

行政機関窓口での現金納入

○ すべての世代が使える

- ▲ キャッシュレス決済したい人が使えない
- ▲ 紙幣・硬貨の取り出し・しまい込みの手間
- ▲ 窓口での釣銭授受・現金管理が必要
- ▲ 釣銭管理・銀行入金等の内部事務が必要



これから

行政機関窓口での現金納入 (に加え…)

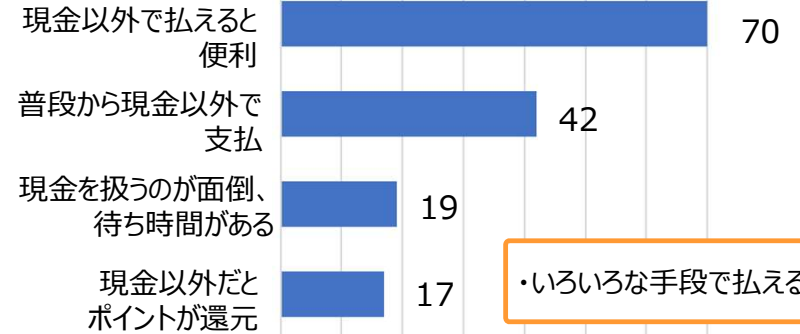
行政機関窓口でのキャッシュレス決済

- ・スマホからのコード決済 ・電子マネー決済
- ・クレジットカード決済 等 に対応

※キャッシュレス決済端末の導入・運用コスト等を考慮し、現金取扱が相当多い窓口所属から希望を聴取のうえ導入箇所を選定していく (対象窓口は限定的)

ご意見

「現行と違う納入方法を用意してほしい」と答えた理由(複数回答可)

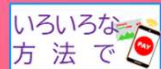


ご意見

「現行と違う納入方法として何を希望するか」(複数回答可)



キャッシュレス決済端末を導入することにより…



現金・キャッシュレスの両方に対応



違算・現金事故の防止
釣銭管理・銀行入金等の内部事務の軽減

5 収納方法別の対応方針

～詳細～

(出典：多様な公金収納の実現に関するアンケート調査 (R5.7 山形県会計局))

(c) 県証紙

(県への申請手続の手数料全般)

現 行

売りさばき所で県証紙を現金で購入して
申請書類に貼付し、行政機関窓口で申請

- すべての世代が使える
- 直接現金をやり取りしないので事故が少ない
- 県証紙を購入し、貼付して郵送申請が可能
- ▲ 売りさばき所が限られている
(販売場所、営業時間等。県外は売りさばき所なし)
- ▲ キャッシュレス決済できない

DX

これから

当面は県証紙制度を運用しながら、
より一層の利便性の向上に取り組んでいく※

具体的には…

- (1) **電子申請 + 電子納付** を導入
- (2) 利便性と効率性の高い、
新たな手数料納付方法を検討し、導入

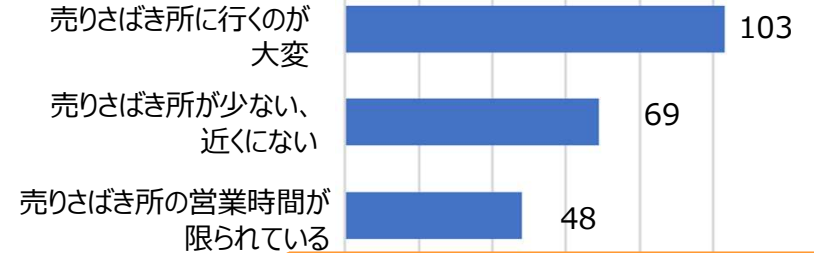
【他県での県証紙以外での納付方法例】

- ・専用納付書でのコンビニ現金決済 等

※(1)(2)の導入 (所要の財務会計システム等の改修含む) 後、その普及・活用状況も踏まえながら、県証紙の廃止を検討していく

ご意見

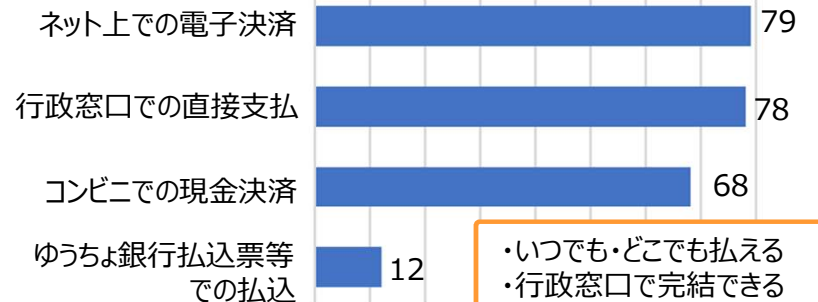
「県証紙以外の納入方法を用意してほしい」と答えた理由(複数回答可)



・特に県外は売りさばき所なし
⇒現金書留での県証紙購入対応 (郵送)

ご意見

「県証紙以外の納入方法としてどこで支払うことを希望するか」(複数回答可)



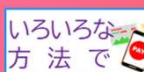
・いつでも・どこでも払える
・行政窓口で完結できる

電子申請 + 電子納付により…



いつでも・どこでも
申請から納入まで手続が可能に

新たな納付方法により…



手数料納入に係る
利便性を向上

財務会計システムとの連携により…



県証紙以外の収納方法でも
内部事務を効率化



山形県公金収納DX基本方針

6 公金収納DX 工程イメージ

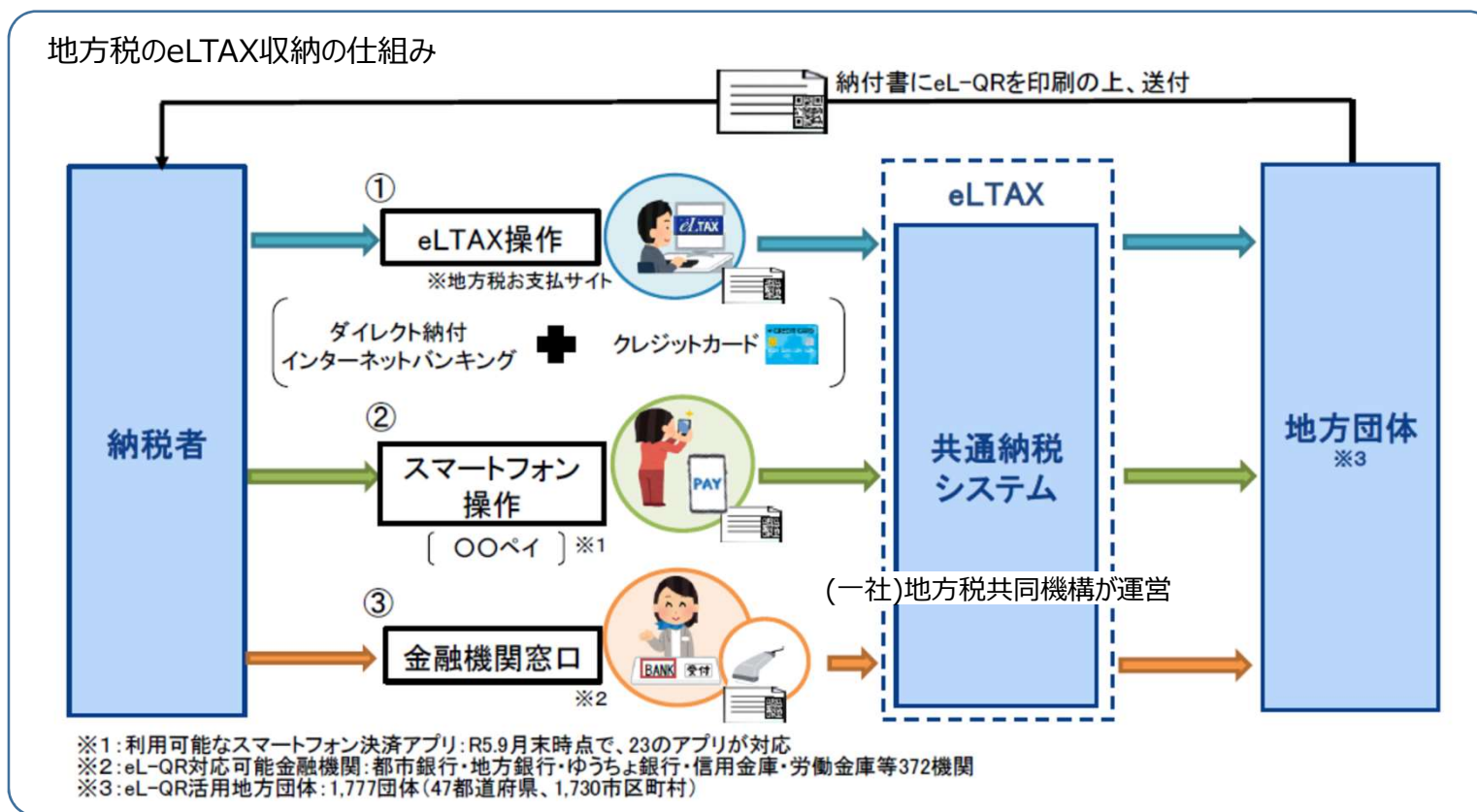


収納手段	5年度	6年度	7年度以降～
(a) 納入通知書での収納	対象歳入の精査	財務会計システム改修 納入通知書への バーコード追加対応	コンビニ対応バーコードを活用した収納実施 コンビニ現金収納 (eLTAX収納開始後も継続) スマホアプリ等によるキャッシュレス収納 eLTAXでの収納方法を踏まえてスマホアプリ等継続の有無を検討
		対象歳入の精査	財務会計システム改修 eLTAX対応 eLTAXを活用した収納実施(R8.9月頃～) ・スマホアプリ ・Webブラウザ (・銀行窓口)
(b) 窓口での現金収納		キャッシュレス端末 導入対象窓口の精査	キャッシュレス 端末導入 財務会計 システム改修 対象窓口でのキャッシュレス収納実施
(c) 県証紙での収納	(従前どおり)	当面は県証紙での収納を運用 → 電子申請+電子納付や、新たな納付方法の普及を踏まえながら、県証紙の廃止を検討していく	
	電子申請 + 電子納付	電子申請 対象手続順次拡大 やまがたe申請 山形県電子申請サービス※ 手数料電子納付対象手続選定 手数料電子納付機能追加 財務会計システム改修 電子申請+手数料電子納付実施	
	新たな手数料納付方法	先行県/関係所属/売りさばき所 聞き取り調査・分析 新たな納付方法の 検討	関係所属 との調整 財務会計 システム 改修 新たな方法での 手数料収納実施

※手数料の内容により、やまがたe申請以外のサービス等を利用することによって利便性が向上し、申請から納付まで円滑に行えるものについては、担当部局で積極的に活用を図っていく

財務会計システム改修 については、内容と所要期間を勘案して運用に支障のないよう段階的に行うこととし、それぞれの収納方法開始時期を見極めていく

参考 税外公金へのeLTAX収納の拡大について



国では、現在eLTAX/eL-QRを活用して行っている地方税の納付について、全国の自治体の税外公金収納に拡大する実施方針を決定。

納付書（納入通知書）による収納について、遅くとも令和8年9月までの開始を目指すこととしている。対象となる歳入は現時点で未定。